

三木市のめざすコミュニティ・スクール

No. 2 「学校運営協議会の委員とは」

令和4年8月

近年、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、三木市においては、コミュニティ・スクールを導入し、「社会総掛かり」で未来を創る教育を地域とともに進めていきます。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことを指し、この協議会の委員は、地域・保護者等から選出されます。まず、子どもにつけたい力を学校と委員が共有し、主体的に子どもの育成について学校とともに考え、方向性を出していきます。この方向性を、保護者や既存の地域団体、地域住民の様々な方へとつなぎ、実行へ移していきます。

1. 三木市の子どもにつけるべき力

これからの未来に対応するためには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に伸ばし、よりよい社会と豊かな人生を自ら創り出していくことが重要です。

【三木市の子どもにつけるべき力】

- ◇自ら判断し、課題を見つけ、解決をめざす「主体性」
- ◇多様な他者を尊重し、ともに生きていく力「協働性」
- ◇学びを活用し、新たな価値を生み出していく力「創造力」

2. 委員の構成や役割

学校運営協議会の主な役割

子どもの豊かな学びと育ちを創造することを目的とし、学校運営・その運営に必要な支援に関する協議等を行います。

- ・校長の学校運営の基本方針を承認する。
 - ・学校運営について、意見を述べるができる。
 - ・任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、意見を述べるができる。
- (地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の5)

この役割に加えて、目の前にいる子どもたちのために何ができるか、委員が主体的に課題に対する解決策を考えていきます。

(解決策例)

- ・登下校の見守り
- ・挨拶運動
- ・親子人権学習
- ・学習補助 (ゲストティーチャーも含む)
- ・花壇管理
- ・図書室整理
- ・読み聞かせボランティア 等

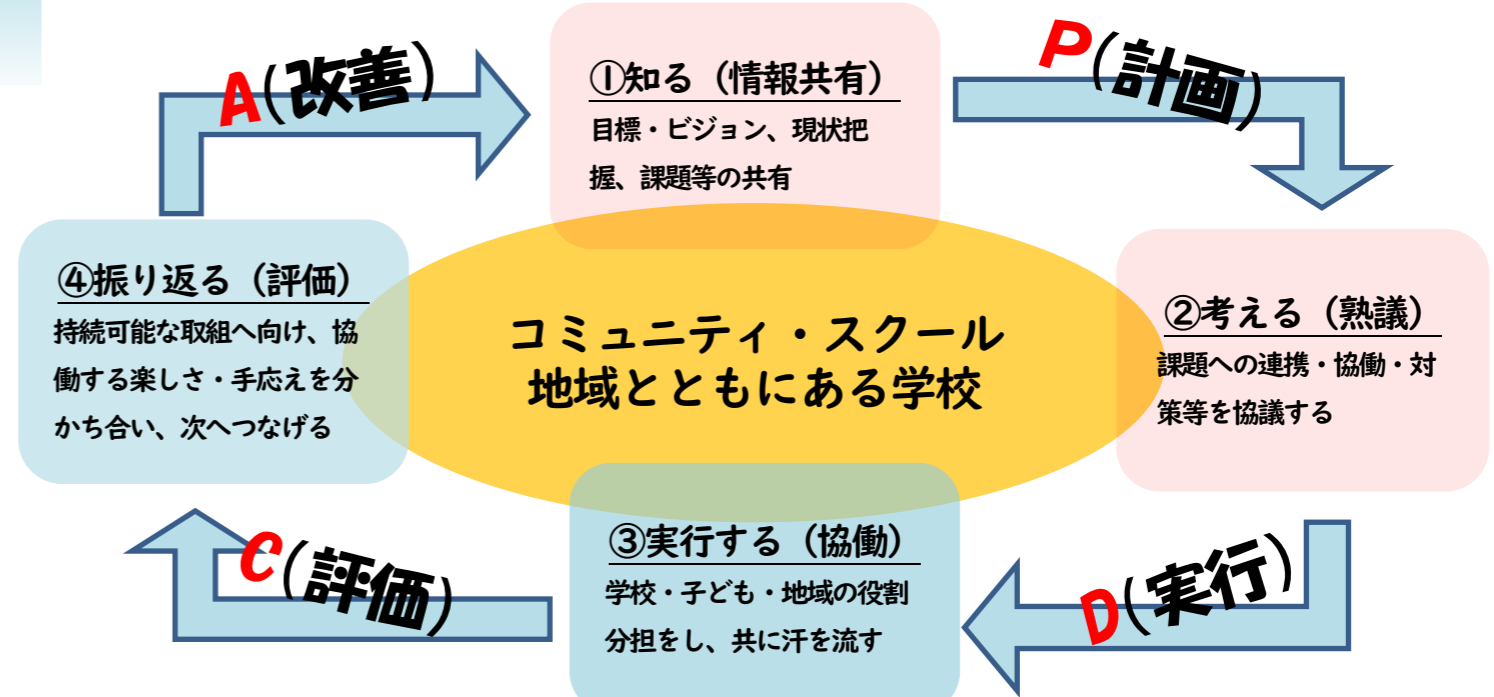


三木市では、これまでも多くの方々に学校運営や子どもたちの学びを支援していただきました。人の目の垣根隊、読み聞かせ、PTA活動など様々な活動がありますが、これらの活動も引き続き行っていきます。

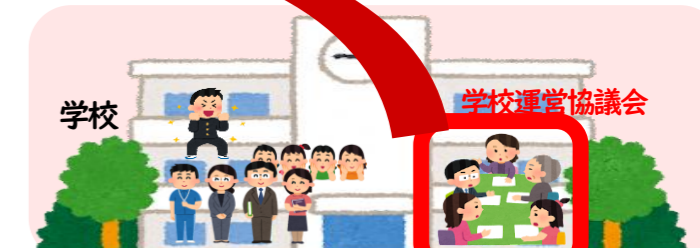
地域・保護者・学校が目標を共有して、今までの活動をさらに組織的・継続的に進めるよう体制を整えていきます。

「学校評議員」は、校長の求めに応じて意見を述べる役割です。学校運営協議会を置く学校においては、「学校評議員」に代わって学校運営協議会の委員がその役割を担うことに加え、学校の課題に対して主体的に対処策を考え、協働して解決に導くなど、より幅広い役割を担っていただくこととなります。なお、これまで行っていた「学校関係者評価」も学校運営協議会で行っていきます。

3. コミュニティ・スクールPDCAサイクル



【コミュニティ・スクールのイメージ図】



保護者・地域住民等



【地域にとっての良さ】
地域 (ふるさと) とつながり、地域 (ふるさと) に愛着をもつ子どもが育つ (先進地の地声の声)
「子どもとあそび、ふれあえて嬉しかった」「自分のできることお手伝いできて、楽しかった」「子どもの声、笑顔、エネルギーになった」「地域の横のつながりがさらに強まり、地域の活動で、良さを再認識できた」「同世代だけでなく、子育て世代や子どもと交流できて、地域のネットワークが広がった」 等

「学校運営協議会 委員」

★子どものために学校とともに考え、行動できる方

- (委員例)
- ・学校関係者
 - ・同窓会代表
 - ・公民館代表
 - ・PTA代表
 - ・民生児童委員代表
 - ・スポーツクラブ21代表
 - ・その他地域団体代表 等
 - ・自治会代表
 - ・学校評議員

委員は、特別職に属する地方公務員の身分を有する。
(文部科学省「学校運営協議会設置の手引き」)

委員には、課題解決に向け、前向きに参画することが求められます。

なお、任期や委員数、守秘義務等の詳細については、教育委員会規則で定めています。

学校運営協議会の全体会は、年3～4回程度を予定していますが、具体的な活動は必要に応じて実施していきます。

【子どもの変容】 (コミュニティ・スクールを導入した学校で学校生活を過ごし、大人になった人たちからの報告より)

いつも大人に見守られ「安心感」がありました。体験活動をさせていただく機会が多くあり「考え方や視野」が広がりました。会話の中で褒めたり、認めたりしていただくことも多く「自己肯定感の高まり」にもつながったと思います。今まで以上に学びや体験活動が充実し、子どもたちにとって、豊かな学びを保障することができると思っています。